

## 福祉共育のつどい開催報告

- ・開催日時：2月6日（土）9：30～12：00
- ・場 所：ふれあい福祉センター全館
- ・出席者：45名 

教員4名、介護施設職員4名、ワーカー・コーディネーター3名、
ボランティア活動者15名、学生4名、一般5名、その他10名
- ・内 容：別紙チラシのとおり
- ・参加者の感想

### 模擬授業・点字を打ってみように参加

- ・小学生のときに授業で点字を習ったが、またできて楽しかった。盲者と交流する機会があるがその方は点字を読めて、盲導犬と一緒に暮らしている。最初に点字で手紙をやり取りし、交流会のオファーも自分達でして、どういう内容にするか、学校内の案内の仕方も工夫して自分達で企画した。そうすることで、その人の立場になって、考えることができ、いい経験になったと思う。今そういう授業が減っているなので、ぜひやってほしい。（大学生）
- ・点字を読む機会はたくさんあった。でも打ったのは初めてで、一字一字確認しながらやっても途中わからなくなかった。興味はあったので、楽しかった。（大学生）
- ・初めて点字体験をしたが楽しかった。点字ボラをしたいと思っていたながら何年も経ってしまった（ワーカー）
- ・読みは難しいが、打つのはおもしろいと思った。奥が深い（一般）

### 模擬授業・手話を学ぼう

- ・数年前、少しだけ手話を習ったがすっかり忘れていた。今回久しぶりに機会があり、楽しかった。もっと覚えたいと思う。手話はかっこいい！（一般）

### 模擬授業・いのちを考えよう

- ・戦争中の話から「いのち」を考える授業だった。長野市で起きたリアルなエピソードに改めて平和・いのちについて考える良いきっかけづくりになった（ボランティア）

### 交流会・車いすのギタリスト

- ・つながりができて良かった。これからの福祉活動の力になる（ワーカー）

### 交流会・知的障がい者の親の会

- ・知的障がいを持っている職場の同僚についての悩みを、他の参加者に聞いていただいた。他の同僚は知らんぷり、ほっとしている感じだが、相談先を教えてもらったので、上司に話してみようと思う。またこのような集いがあったら参加したい（一般）

### 交流会・精神障がい自助グループの方と

- ・見えない障がいでも生きづらさを感じている当事者のお話は勉強になる。

日頃、当事者メンバーと多く接する立場として、基本に返りそれぞれのニーズにあった支援をしていなくてとはと改めて思った。

家族の精神障がい気づかず、不適切な対応をしてきたとおっしゃる方もいらっしゃった。この会がよいきっかけになればと思う（ボランティア）

#### 交流会・日本語教室ボランティア

- ・外国の人が日本に移住することは大変なことばかりで、つらくなってしまう。それでも周りの人や地域の人  
が支えてあげることで、その人の悩みや不安が少しでも取り除けるなら、そうしていけるような取り組みを  
していきたいと思った。

小学校の頃に外国の文化を知ったり、日本に来てどのようなことを感じたのかを学ぶ機会を作ってくれたら、差別やいじめも解消されていくのではないかと思った。ここにきている先生は、関心のある人たちだったので、理解がない先生にもこのことを知ってもらう必要があると思った。（大学生）

#### 交流会・長野ろう学校の先生と

- ・身近に障がいを持つ方がいないため、知りたいことも分からないままになっていることも多い。知りたいこ  
とが分かって良かった（大学生）
- ・参加者の方もいろいろな立場の方がいらして、とても楽しく有意義な時間だった（一般）

#### 交流会・紙芝居ボランティア

- ・赤澤さんのお話は優しい語り口で、ご自身の介護体験や紙芝居の作り方、枠も手作りで絵や文章の苦勞、戦  
争の話や松代大本營の話、興味深く聞くことができた。（ワーカー）